

## 視察コース紹介

【Aコース】 11月12日(火)ー13日(水) (1泊2日) 「富山総合コース」

参加費： ¥30,000ー

実施日	時間	行程
11月12日 (火)	午前 午後	(08:30ホテル発) → 立山黒部アルペンルート(室堂まではバス利用) → 昼食 → (乗り物を乗り継いで) 黒部ダム視察 → ホテル(宿泊)
11月13日 (水)	午前 午後	(09:00ホテル発) → 相倉合掌造り集落 → ひみ番屋街(昼食) → 新湊大橋(海王丸パーク)経由 → ホテル

### 視察ポイント:

現在は観光地として有名な立山黒部アルペンルートは、古くは山岳信仰の場でした。そのルート開発は産業振興に端を発し、現在は環境保全にも積極的に取り組んでいます。映画「黒部の太陽」や「剣岳 点の記」などにも描かれた、厳しい自然と人との関わりの中で、長い時間をかけて完成されたアルペンルートを、文化・産業・環境などの視点から再発見していただくコースです。2日目には県西部にある世界遺産、五箇山合掌造り集落などを視察します。

### 視察先紹介:

#### ◆立山黒部アルペンルート

##### ①室堂平

高2,450mの室堂平は世界有数の豪雪地帯で、なかでも室堂駅近くにある20mを超える雪の壁が「雪の大谷」は有名で、春には国内外から多くの観光客が訪れます。

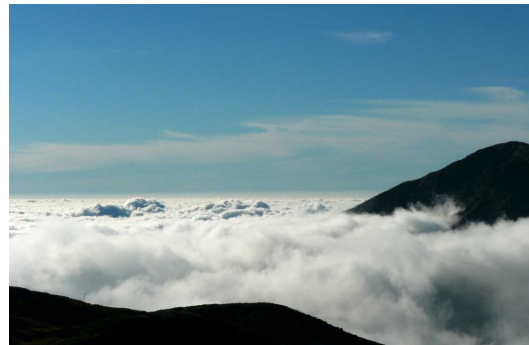
付近には、美しい水をたたえる「みくりが池」や、火山活動を目の当たりにできる「地獄谷」があり、自然の素晴らしさを感じることができます。



##### ②黒部ダム

石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」の舞台にもなった黒部ダムは、513億円の資金と7年の歳月をかけてようやく完成した世紀の大事業でした。

大迫力の放水では、日本一の高さから毎秒10立方メートル以上の水が噴き上げ、晴れた日にはきれいな虹がかかります。



##### ③環境に配慮した交通

立山黒部アルペンルートでは、自然景観を損なわないように、また自然に与える影響を最小限に抑えるように細心の配慮がされています。

室堂～大観峰間を走る、立山トンネルトロリーバスは、バスではなく鉄道(無軌条電車)となっているほか、美女平～室堂間でも、低公害バス(高出力型ハイブリッドバス)の導入を順次進めるなど、排出ガスを抑制しています。

また、美化清掃大会やゴミ持ち帰り運動の推進等、積極的な環境美化活動を展開し、ゴミの無い美しい山岳観光地となっています。



### ◆世界遺産合掌造り集落

世界遺産五箇山合掌造り集落では、相倉に20棟、菅沼に9棟の合掌造りがあり、古いものは400年前のものといわれています。江戸時代の姿のままに、今も人々が暮らしています。1995年12月9日にユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されました。(日本では6件目)



### ◆ひみ番屋街

「寒ブリ」で知られる港町、氷見市。沿岸沿いでは、富山湾越しの立山連峰が一望できる絶好のロケーションが有名です。海越しに3,000m級の山脈を眺めることができるのは、世界中でたった3か所しかないと言われています。

ひみ番屋街では、「天然の生け簀」と呼ばれ、日本屈指の漁場である富山湾で獲れた新鮮な海の幸や、地元の特産品が楽しめます。



### ◆海王丸

「海の貴婦人」と呼ばれた海王丸は、商船学校の練習船として誕生した帆船で、60年近くにわたり、地球約50周分の距離を航海し、11,190名もの海の若人を育てました。平成2年4月に富山に回航し、以来海王丸パークでは、この海王丸を現役の姿のまま公開しています。

